

社会司牧通信



202606

★印はカトリック関連

平和の使徒推進本部 正義と平和推進デスクでは、教会が社会へ発信しているメッセージや社会の中で活動する団体の情報をお知らせします。社会へのチャレンジの第一歩として、積極的にご参加ください。

★核兵器不拡散条約（NPT）第11回再検討会議の開催にあたっての声明 - カトリック広島司教区

残念ながら、今回のNPT再検討会議(4/27~5/22)では、今後の核軍縮や不拡散の方向性を示す「最終文書」を採択できずに決裂しました。5年ごとに行われる再検討会議になるが、今回で3回連続採択ができませんでした。「核兵器のない世界のためのパートナーシップ」の日米の司教がそろって、声明を出されたことを記録しておきます。



★伊藤神父様の Santa Fe（サンタ フェ）通信

[The Ascension of the Lord](#)

昨年よりアメリカ・サンタフェ教区に派遣されている伊藤神父様から、主の昇天の主日ミサの映像が届きました。荘厳なカテドラルで執り行われたミサの様子は、見る者のこころを打つものがあります。現地では「核なき世界のためのパートナーシップ」の実現に向け、精力的にご活躍されています。

★WYD ソウル大会 日本からの巡礼団について | カトリック中央協議会



来年2027夏、韓国でワールドユースディ（WYD）が開かれます。広島教区の窓口は、「青年活動企画室」



教区の日は姉妹教区の釜山で過ごします。参加は、ユース対象ですが、ユースでない方も、ひとりでもたくさんの広島教区の青年たちが、世界の青年たちと交流出来るよう祈りと献金で支えましょう。



★教皇レオ十四世、最初の回勅『Magnifica Humanitas』を発表 | カトリック中央協議会

タイトルの日本語訳は『偉大な人類』（仮訳）テーマは生成AI。日本語訳待ちましょう！

生成AI使ってますか？ 始めはおそろおそろ使い始めましたが、なんと賢いこと！でも、注意しないとイケないことも沢山あるようです。パパ様の回勅の日本語訳が楽しみです。

今月の『家庭の友』（6月号2026）の特集も「生成AIについて考える」です。

●サグラダファミリア「イエスの塔」完成！ NHK 総合 番組のまとめ

・6/10(水)19:30~19:57 クローズアップ現代

サグラダファミリア完成へ祈り、世紀を超えて

・6/11(木)22:00~23:44

「生放送サグラダファミリア〜ついに完成！イエスの塔 世界初公開」

ガウディ没後100年の節目となる2026年6月、メインタワー「イエスの塔」がついに完成。完成を祝う教皇レオ14世司式ミサとセレモニーの翌日、NHKが大聖堂内部からの生中継を特別に許可されました。主任建築家ジョルディ・ファウリ氏へのインタビューや、地上54メートルの屋根からのバルセロナの大パノラマも。

・6/28(日)21:00~21:48 NHKスペシャル（予定）



photo@KAE ITO



『マコはハルモニア・ムンディにのって踊る』(13) 「石の声を聴く」

ロクスひよりやま キャプテン 中井 淳 SJ
(旧下関労働教育センター イエズス会神父)

「カツーン、カツーン、カツーン。」石の音が静寂の空にこだましていく。石木川の源の虚空蔵山を背に、石彫刻のアーティスト センリさんがノミを石にあてて打っていく。その横で、墨汁で書かれた文字がめくられていく。「石の音。石の音。石の音。石の音。… 石の音が虚空蔵山へ届いた。あれは人間たちの祈りじゃな。お山は風を呼びあつめた。風に乗せて、石の声をこぼるへ。風はこぼるの木々をすりぬけ、川の水を撫で、田んぼをわたり、蛍と遊ぶ。人間は大いなる自然の一部になってはじめて全き存在となる。何故なら、自然は自分だから。」

5分ほどの間、風に呼び集められた人たちが、立ち止まり、沈黙して見守る中で石の声だけが響き渡る祈りの時間。

こうして、石木川アースデイが幕を開けた。長崎県川棚町のこぼるに県がダムを建設しようとしている。その再検討を願う市民たちの集まりだ。その前日、マコと一緒に参加しないかと声をかけてくれた文化人類学者のツジ先生と一緒に、虚空蔵山の頂まで登り、美しい緑と海の風景を眺望した。巨大なダムがその自然を破壊してしまうことになったらと思うと心が痛かった。

アースデイは素晴らしい集まりだった。曇り空はその集いが終わるまで雨を降らせずに待っていてくれた。自然が見守ってくれているような空気を感じた。会場となったお寺の本堂で、石木川を守る先頭に立つ住職さん、ダム建設に詳しい元国土交通省の役人であった桶職の方が、石木ダムの問題について考えと想いを語ってくれた。いつしかダム建設はダムを作ること自体が目的のシステムになってしまったこと、石木ダムはその最たるものだという。権力が住民を分断させようとする仕方に対して、私たちはどちらの痛みにも心を寄せねばならないこと。マコにもマイクが回ってきた。マコは一月前に参加したエコロジカルな黙想の体験を分かちあった。私たちは自然とつながることができなければ、本当の人間らしさを失ってしまうということ。芝を撫でながら「ごめんなさい」と涙を流した体験は人々の心に届いたみたいで、声をかけてきてくれる人たちがいた。

石の声を聴くことから始まったこの集いには、最初から最後まで、みんなを一つにしていく爽やかで力強いエネルギーが流れていたのを感じた。目に見える世界の向こう側にある、目に見えない世界に流れる風を感じながら、自分の言葉を思いのままに届けることができるようになったのは、先住民の知恵の手紙のおかげだなあ、と思う。あの石の音がみんなの祈りを虚空蔵山に届けてくれたのだと感じた。

「石の声ってどういうふうに聴こえるんですか？」マコが尋ねると、センリさんが心にのこる話をしてくれた。

石の彫り方には二つの仕方があって、一つは自分でイメージした形に石を彫っていくもの。もう一つは、どうな



っていくかわからないままに、この石はこうしてほしいんだなと感じながらノミを当てて彫っていく。それが言葉で説明できる形とはいえなくても、これでこの石はいいんだな、と感じたところで手をとめて完成、なのだという。石の持っている本来の形を彫り出していく、見える世界の向こうにある本質を見抜いていく、聴いていく、感じていく感覚。この感覚を研ぎ澄ませるようにと、“目覚め”ていくようにと呼ばれていると感じる。このこぼるの自然を、石木川を、蛍たちを守っていこう。この人々たちにつながっていこう。そうマコは心に誓った。(つづく)

★カトリック広島教区 ハラスメント相談窓口：広島教区人権擁護デスク★

受付時間 木曜日(祝日を除く) 9:00~16:00 電話番号 082-555-1127

メール：desk-hiroshima@catholic.hiroshima.jp

H·Social**H·Social**H·Social**H·Social**H·Social**H·Social

発行 カトリック広島教区 平和の使徒推進本部 正義と平和推進デスク

TEL：082-221-6613 FAX：082-221-6019 E-Mail info@social-desk.net